

同時資料提供
大阪科学・大学記者クラブ

大阪市立自然史博物館
学芸課学芸員 中条武司
電話 06-6697-6222

「関西文化の日協賛・大阪市地域文化芸術振興プラン推進事業

大阪自然史フェスティバル 2009」

開催のご案内

大阪市立自然史博物館では、「大阪自然史フェスティバル 2009」を関西文化の日である平成 21 年 11 月 14 日（土）、11 月 15 日（日）に自然史博物館本館、ポーチ、ネイチャーホールで開催します。

大阪自然史フェスティバルは、自然関連のサークル、地域の自然保護団体などが活動を紹介し、交流を深め、市民のみなさんに大阪の自然の現状や自然に関わる活動の楽しさを知っていただくイベントです。また、自然の素材を扱ったアートやゲームなどの体験コーナー、自然観察のワークショップ、講演会など多彩な内容で来場者の皆様に楽しんでいただける、自然史博物館を会場とした「自然の文化祭」です。

これまでに大阪市立自然史博物館では、「大阪自然史フェスティバル」を 2003 年、2004 年、2006 年と過去 3 回開催しており、今回で 4 回目の開催となります。また、2007 年にはテーマを「鳥」に絞った「大阪バードフェスティバル」、2008 年は、関西自然保護機構創立 30 周年を記念して企画した「かんさい自然フェスタ」と、さまざまなフェスティバルを催してきました。毎回当初の予想以上の盛り上がりを見せ、各回の来場者は 1 万人を超え、多くの方々に「自然の文化祭」を楽しんでいただいております。今回も自然に興味のある多くの方々のご来場をお待ちしております。

なお、このイベントは文化庁による「地域文化芸術振興プラン推進事業」による助成を受けて実施しています。

このプレスリリースの内容は大阪市立自然史博物館ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

- ご取材にお越しの方は 7 ページの取材申込書にて FAX でお申込下さい。
- 広報用写真をご用意しています。8 ページの広報写真申込書も FAX でお申込下さい。

記

1. 名 称 「関西文化の日協賛 大阪市地域文化芸術振興プラン推進事業
大阪自然史フェスティバル2009」
2. 主 催 特定非営利活動法人 大阪自然史センター、関西自然保護機構、
大阪市立自然史博物館、大阪市地域文化芸術振興プラン推進事業
実行委員会
3. 協 賛 社団法人日本望遠鏡工業会、オリンパスイメージング株式会社、
株式会社ケンコー、興和株式会社、スワロフスキー オプティック、
株式会社ニコンビジョン、株式会社ビクセン、カラータ株式会社、特定
非営利活動法人生態工房、株式会社日本鳥類調査・Hobby's World、株式会
社文一総合出版、招き鳥の巣、株式会社ワイバード
4. 協 力 きんき環境館、谷口高司鳥絵工房
5. 期 間 平成21年11月14日（土）、11月15日（日）
6. 会 場 大阪市立自然史博物館 本館、ポーチ、
ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2F）
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23（長居公園内）
TEL 06-6697-6221 FAX 06-6697-6225
地下鉄御堂筋線「長居」下車3号出口・東へ800m
JR 阪和線「長居」下車東出口・東へ1000m
7. 入 場 料 無料（「関西文化の日」ですので、博物館常設展入館料も無料となります）
8. 開催時間 午前9時30分から午後4時30分（ただし両日とも入館は午後4時まで）
9. 開催内容（両日とも）
 - ◎ブース展示：ネイチャーホール、博物館前ポーチなどで、アート・自然・文化の融
合をテーマに、出展団体が活動紹介や標本などの展示をします。参加型の工作・体験
コーナーや水槽などで生き物を展示するブースもあります。
 - ◎ワークショップ：長居植物園などで、様々な自然観察・自然保護教育プログラムを
実演します。受付はいずれも当日会場で行います。
 - ・「谷口高司のタマゴ式鳥絵塾」（谷口高司鳥絵工房）
日時：14日（土）、15日（日） 11:00～、13:30～、15:00～（各回45分程度）
参加費：600円（画材代）
定員：各回30名
 - ・「水辺の鳥を観察しよう」（日本野鳥の会 大阪支部）

水辺の鳥たちは、何を食べているかな？どんなエサの採りかたをするかな？

日時：15日（日） 10:15～、13:15～（各回1時間30分程度）

参加費：おとな（大学生以上）100円、こども（高校生以下）無料、

*家族単位の参加の場合は一家族100円

定員：各回30名

・「博物館裏庭ビオトープ」（自然史博物館友の会）

自然史博物館では、裏庭で博物館の友の会会員とともにビオトープ作りをしています。一緒にビオトープで作業や調査をしませんか！今回は畑での作業や池でヤゴ調べをします。

日時：14日（土）、15日（日） 畑で作業：10:30～、池でヤゴ探し：14:30～

（各回1時間程度）

参加費：無料

定員：各回30名

◎講演会：自然史博物館講堂で、自然に関する講演会を行います。

自然史フェスティバル2009 記念シンポジウム

「自然を“仕事”相手にしてみようー自然保護、生物多様性を社会の中にー」

自然保護や生物多様性の重要さが様々なところで述べられています。しかし、これらの活動は多くはボランティアの人たちに支えられている面があります。一方で、これらの活動を社会の中に位置づけて、仕事として活動している人たちも多くいます。このシンポジウムでは、自然を“仕事”相手として働いている方々をまねき、日本の自然の未来について語っていきましょう。将来自然に携わる仕事をしてみたい高校生・大学生はぜひご参加下さい。

日時：11月14日（土） 13:30～16:30

会場：自然史博物館 講堂

主催：きんき環境館、大阪自然史センター、大阪市立自然史博物館

協力：生物多様性条約市民ネットワーク

参加費：無料

プログラム：13:30～13:35 シンポジウムの概要説明

13:35～14:30 基調講演「鳥の生活費は鳥自身で稼いでもらいましょう！

ー理想のエコツアーをめざして！ー」

講演者：山本幸正氏（株式会社ワイバード 代表取締役）

環境悪化により年々、野鳥の数が減っています。一方でエコツーリズムが盛んになり野鳥を観察したいというニーズは増えるばかり……。これからは「ツアーの収益で鳥を守る」のではなく、「鳥自身が保護費を稼ぐ」時代です。エコツーリズムを通じた新しい自然保護の可能性について、世界中の珍しい鳥たちの写真や生態を通じて楽しくお話します。

14:30～14:45 休憩

14:45～15:00 生物多様性条約市民ネットワークの設立について

15:00～16:30 パネルディスカッション「自然を“仕事”相手にしてみよう」

国立公園レンジャー、環境コンサルタント、自然保護団体、博物館学芸員など、実

際に自然に関わる仕事をしている人たちに集ってもらい、仕事の魅力を語っていただきます。

司会：佐久間大輔（自然史博物館学芸員）

・15日（日）決まり次第HPに掲載いたします

10. 出展団体 大阪周辺の自然観察団体など75団体（50音順、予定）
別添PDFファイルをご覧ください。

11. その他

<http://www.omnh.net/npo/fes/2009/>

※ポスターの広報用イラストは、大阪自然史フェスティバルホームページよりダウンロードしていただけます。

(参考) 自然史フェスティバル2006の様子 (2006年3月11日～12日)



写真1：会場（ネイチャーホール）の様子。自然の素材を生かしたゲームを楽しんでいます。



写真2：会場（博物館本館）の様子。様々な団体の展示を多くの市民が見学しています。

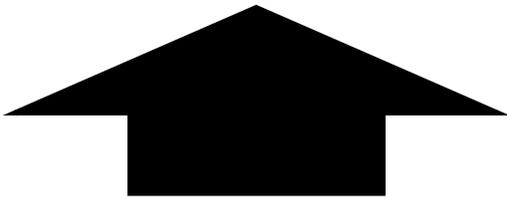
(参考) 自然史フェスティバル2006の様子 (2006年3月11日～12日) (続き)



写真3 : 水槽を使って生き物を展示しているブースもあります。



写真4 : マツボックリで作られた恐竜。



< F A X 送信 >

F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

送信先：大阪市立自然史博物館

管理課広報 宛

TEL. 06-6697-6221, FAX. 06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

関西文化の日協賛事業

大阪自然史フェスティバル 2009

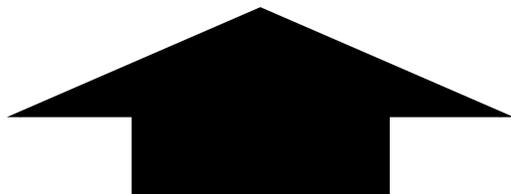
プレス取材申込書

本展の取材をお申込みされる方は、下記該当箇所をご記入の上、管理課広報宛にFAXにてご返信ください。またお手数ですが、掲載媒体を2部（DVD、ビデオ、カセット、MDなどは1本）、お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



博物館通用口からお入りください。
駐車スペースもございます。

貴社名／媒体名	
取材希望日	11月 日
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. _____ FAX. _____ e-mail. _____



< F A X 送信 >

F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

送信先：大阪市立自然史博物館内

管理課広報 宛

TEL. 06-6697-6221, FAX. 06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

関西文化の日協賛事業
大阪自然史フェスティバル 2009

広報写真申込書

本展覧会の広報用写真をご用意しております。ご希望の写真に○印をつけ、下記にご記入の上、ご返信ください。

- ・写真使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。尚、本展終了後の使用は出来ませんのでご了承ください（掲載期間：平成21年11月15日まで）。写真の使用後は、データは破棄してください。
- ・掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で管理課広報宛までFAXまたはメールをお送りください。また、ご掲載いただいた場合は、お手数ですが、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、DVD、ビデオ、カセット、MDなど）を管理課広報宛にお送り下さい。

自然史フェスティバル2006の様子（2006年3月11日～12日）		
1. 会場（ネイチャーホール）の様子	2. 水槽を使って生き物を展示しているブース	3. 会場（博物館本館）の様子
		

貴社名	
媒体名／発行部数	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.